

# 下関市立大学同窓会 島根支部 広報誌

## 芋の収穫祭 盛大に！

島根支部は、平成三十年十月十四日、組織の活性化と会員相互の親交を目的に昨年度に引き続き「さつま芋の収穫祭」を実施しました。今年度は同窓会本部の中村会長と山村理事が遠路駆けつけていただき、八会員十家族二十三人（内子供八人）が参加して盛大に実施しました。



好天に恵まれた収穫後の記念撮影

### 神話の国出雲の 芋堀体験

同窓会会長 中村信悟（六期）

畑での芋堀は初体験であった。朝より同窓生の奥様方やお孫さん達に囲まれて、一心不乱に芋獲得に興ずること九十分。いささか腰が疲れましたが、大きな芋に遭遇するたびに、鋭気が蘇ってきた。



大奮闘中の中村会長

芋ですから。』と答弁。  
最後に余談になりますが、私は子供の頃から日本史が大好きで、邪馬台国は出雲である」と信じている一人です。芋堀の最中、ひょっとして「勾玉」「卑弥呼の青銅器」が出土するのではないかと小さな期待をしておりました。（※平成三十一年十月十三日早朝、午後二時頃出雲大社を参拝。大穴持の奥様の自家製の新鮮な山菜料理に舌鼓を打ちながら、下関での学生時代の思い出や四方山話に盛り上がった）

芋堀が一段落し、昼食を頂くことになった。大きな母屋の隣接地に改造した“居酒屋黒チヤン”で黒田さんの奥様の自家製の新鮮な山菜料理に舌鼓を打ちながら、下関での学生時代の思い出や四方山話に盛り上がった。

下関出発【山村理事（九期）の車】  
午後二時頃出雲大社を参拝。大穴持命の像に礼拝。晩は幹部の方と居酒屋で酒盛。長旅の後のビールは格別であった。

帰り際に、更に大きなお芋を頂き恐縮至極であった。帰宅後、早速家内に調理してもらい、食べてびっくり栗の味とにかく“まいう♪”（古いかも）。食感抜群。我が家だけではもったいないので、ご近所へ御裾分け。これが、また大好評。「中村さん美味しかったよ。」と電話あり。こちらも、「出雲の神が宿っているお

### 【大物賞贈呈】



左から一位、二位、三位の皆さん

「支部長ご挨拶」 澄田 晃治（四期）



して“高齢化”があり、若年層会員の獲得が喫緊の課題です。今年度も、『気楽に参加できる組織』『組織の若返りと活性化』を志向して、【女性部・青年部の交流】に磨きをかけます。

平成二十六年度に“全国の集い”を島根で開催して以降、活動に追い風が吹き、本部の当支部に対する認知度も大幅にアップしています。この機運を大切に、更なる前進を図ります。会員各位へのお願いです。会員増強につながる情報を積極的に事務局までお寄せください。本年度も会員の皆様との連携をより深め、活動の拡充を図りますので、一層のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

なりました。

事業報告・決算、事業計画・予算等、上程した議案が全て承認され、懇親会で盛り上りました。

懇親会で初めて出席された奥原さん（五十一期）に自己紹介をしてもらい、今後の若手の活躍にエールを送りました。

### 平成三十年度 支部総会開催！



懇親会前に記念撮影

島根支部は、平成三十年六月十六日（土）午後六時から島根支部の総会をツインリーブス出雲（出雲市）で開催しました。

当日は、川波学長（ご就任後三年連続でご出席）と田中センター長（夫婦お招きし、総勢十八名の総会と申し上げます。半面、組織の課題と正念場であります。幸いなことに新規会員も漸増傾向にあります。これもひとえに地区幹事のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

ローガンに四年間取り組んできました。ですが、組織の骨格は完成し、現在付けの段階にあります。これからが正念場です。幸いなことに新規会員も漸増傾向にあります。これもひとえに地区幹事のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

春爛漫、躍動感あふれる新年度を迎えるました。

## ～組織強化の課題～

会員の皆様、その後いかがお過ごしでしょうか？

広報誌第四号をお届けいたしました。平成三十年度の支部活動も皆様方の格別のご支援により、お陰様で順調に推移いたしました。心から厚くお礼申し上げます。

さて、執行部は、「組織強化」をスローガンに四年間取り組んできました。ですが、組織の骨格は完成し、現在付けの段階にあります。これからが正念場です。幸いなことに新規会員も漸増傾向にあります。これもひとえに地区幹事のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

島根支部は、平成三十年六月十六日（土）午後六時から島根支部の総会をツインリーブス出雲（出雲市）で開催しました。

当日は、川波学長（ご就任後三年連続でご出席）と田中センター長（夫婦お招きし、総勢十八名の総会と

交流会活動発に！

### 中部地区交流会

山根兼三郎（二十四期）

昨日九月十五日に江津で島根支部の会合を持ちたいということで、幹事を引き受けほしいとの依頼を簡単に受けました。

会場や宿泊の手配もさることながら、江津の市大出身者を参加させてほしいといふことで名簿を頼りにいろいろありました。が、当

2

1

